

令和 2 年度

# 一般廃棄物処理の現況

(令和 4 年 3 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課



# 目 次

## I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量 .....	1
(2) 各地区の状況 .....	3
(3) 災害廃棄物の状況 .....	6
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 島根県全体の状況 .....	7
(2) 各地区の状況 .....	8
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 島根県全体の状況 .....	12
(2) 各地区の状況 .....	13
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 島根県全体の状況 .....	26
(2) 各地区の状況 .....	27
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	31
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口 .....	37
(2) し尿処理の状況 .....	38
(3) し尿処理施設 .....	39
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	40
(1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	40
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要 .....	40
7-2 廃棄物処理事業従事職員 .....	44
7-3 委託・許可件数.....	44
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	44
8. ダイオキシン類対策等の状況 .....	45



# I 概要編



## 1. ごみ処理の概要

### (1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1～3 に示す。

令和 2 年度における県内のごみ総排出量は 232,553t (うち、生活系 159,664t、事業系 72,889t) であり、前年に比べ約 2.3%の減少となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは、減少傾向が続いており、事業系ごみは、近年の増加傾向が令和 2 年度に減少している。集団回収量は前年度より減少しているが、これは集計方法の変更により調査対象から外れたものがあることによる。

計画収集人口は 673,618 人 (外国人含む) で総人口の 99.98%である。1 人 1 日当たりごみ排出量は 946g、生活系ごみの 1 人 1 日当たりごみ排出量は 649g である。事業系ごみの減少の影響により 1 人 1 日当たりごみ排出量は前年度より減少している。

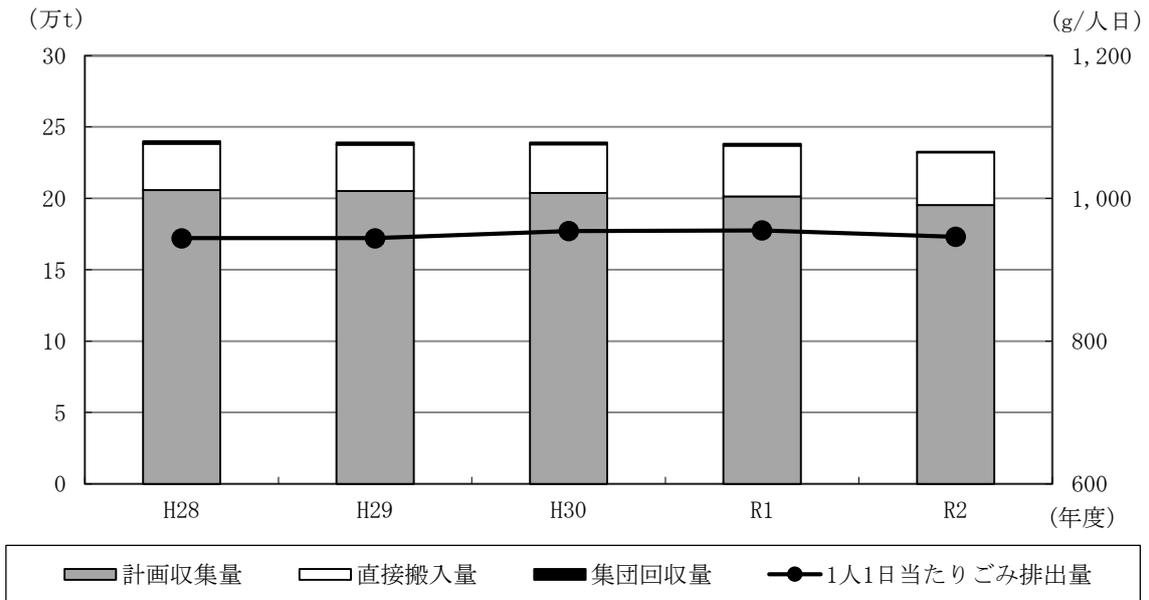
令和 2 年 7 月の豪雨災害により災害廃棄物 786t が発生している。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
総人口(人) <sup>※1</sup>	人	696,915	691,933	686,362	680,905	673,778	
計画収集人口	人	696,745	691,766	686,197	680,741	673,618	
自家処理人口	人	170	167	165	164	160	
計画収集率 (%)	%	99.98	99.98	99.98	99.98	99.98	
ごみ排出量	計画収集量	t	205,734	205,049	203,684	201,307	195,124
	直接搬入量	t	32,514	32,396	33,995	35,427	37,021
	集団回収量	t	1,792	1,526	1,425	1,354	408
	合計	t	240,040	238,971	239,104	238,088	232,553
	生活系ごみ	t	166,395	164,053	163,549	161,558	159,664
	事業系ごみ	t	73,645	74,918	75,555	76,530	72,889
ごみ総処処理量	t	238,073	223,385	237,244	236,690	233,583	
直接焼却	t	177,005	164,053	178,570	180,581	175,351	
焼却以外	t	55,446	53,634	53,608	50,861	51,501	
直接埋立	t	5,622	5,698	5,066	5,248	6,731	
1人1日当たりごみ排出量	g	944	946	954	955	946	
1人1日当たり生活系ごみ排出量	g	654	650	653	648	649	
災害廃棄物処理量 <sup>※2</sup>	t	-	-	1,825	1,011	786	

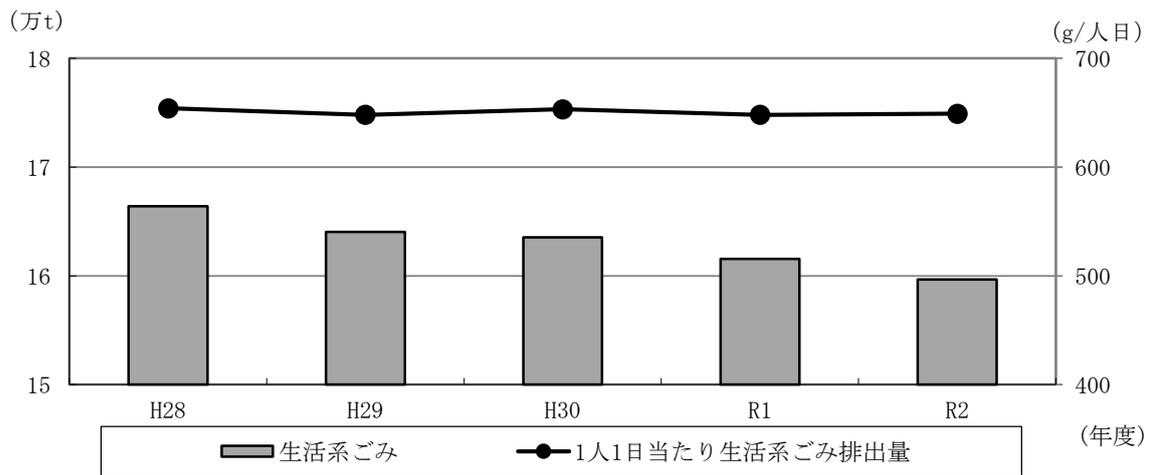
※1. 総人口には外国人を含んだ人口

※2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = ごみ総排出量/総人口/365日 (366日) × 10<sup>6</sup>

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量/総人口/365日 (366日) × 10<sup>6</sup>

図1-2 生活系ごみの排出量の推移

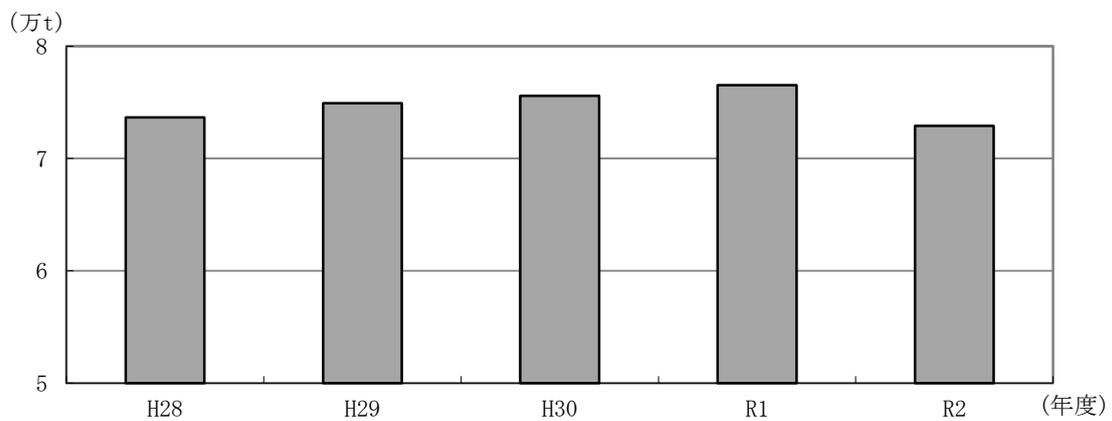


図1-3 事業系ごみの排出量の推移

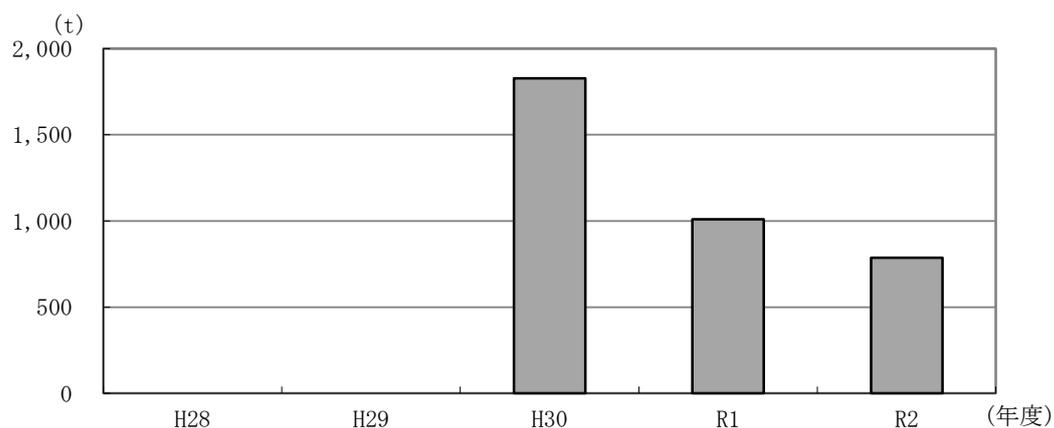


図1-4 災害廃棄物の処理量の推移

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

#### ①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②安来市

可燃ごみ処理は、平成31年1月31日に焼却施設を廃止し、民間業者へ委託処理している。

令和2年度当地区のごみ総排出量は86,371t（うち、生活系58,766t、事業系27,605t）、処理量合計は86,379tであり、1人1日当たりごみ排出量は991gと県平均の946gを上回っている。

### <出雲地区>

#### ①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

#### ③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和2年度当地区のごみ総排出量は74,150t（うち、生活系48,687t、事業系25,463t）、処理量合計は74,026tであり、1人1日当たりごみ排出量は888gと県平均の946gを下回っている。

### <浜田地区>

#### ①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

#### ②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

#### ③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

#### ④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

令和2年度当地区のごみ総排出量は62,263t（うち、生活系44,299t、事業系17,964t）、処理量合計は62,569tであり、1人1日当たりごみ排出量は914gと県平均の946gを下回っている。

### <隠岐地区>

#### ①隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ③西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ④知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

令和2年度当地区のごみ総排出量は9,769t（うち、生活系7,912t、事業系1,857t）、処理量合計は10,609tであり、1人1日当たりごみ排出量は1,377gと県平均の946gを上回っている。

表1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳（令和2年度）

区 分	単位	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	t	238,861	228,784	186,702	19,431
計画収集人口	t	238,861	228,784	186,542	19,431
自家処理人口	t	0	0	160	0
ごみ	t				
計画収集量	t	75,388	65,362	51,143	3,231
直接搬入量	t	10,983	8,593	10,907	6,538
総排出量	t				
集団回収量	t	0	195	213	0
合計	t	86,371	74,150	62,263	9,769
生活系ごみ	t	58,766	48,687	44,299	7,912
事業系ごみ	t	27,605	25,463	17,964	1,857
ごみ総処理量	t	86,379	74,026	62,569	10,609
直接焼却	t	66,430	52,573	48,519	7,829
焼却以外	t	19,030	17,335	13,405	1,731
直接埋立	t	919	4,118	645	1,049
1人1日当たりごみ排出量	g	991	888	914	1,377
災害廃棄物処理量	t	-	-	786	-

注) 総人口は外国人を含んだ人口

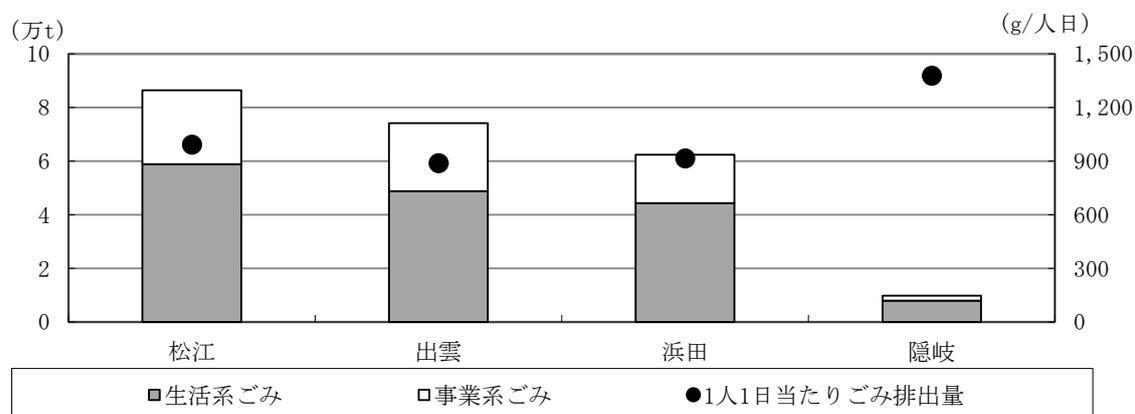


図1-5 ブロック別ごみ排出量（令和2年度）

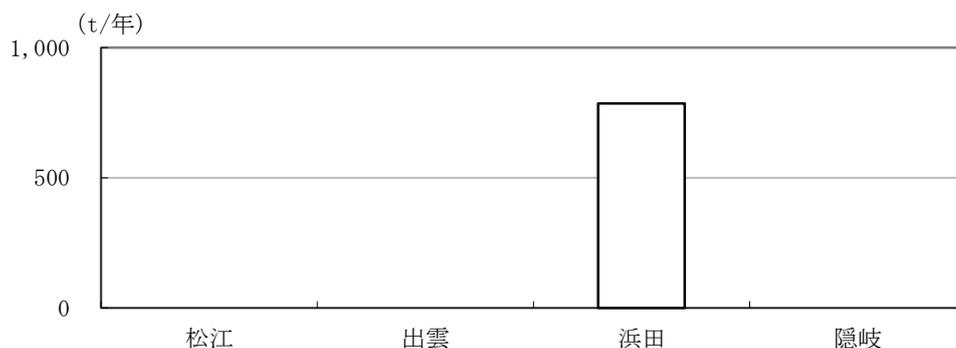


図1-6 ブロック別災害廃棄物（令和2年度）

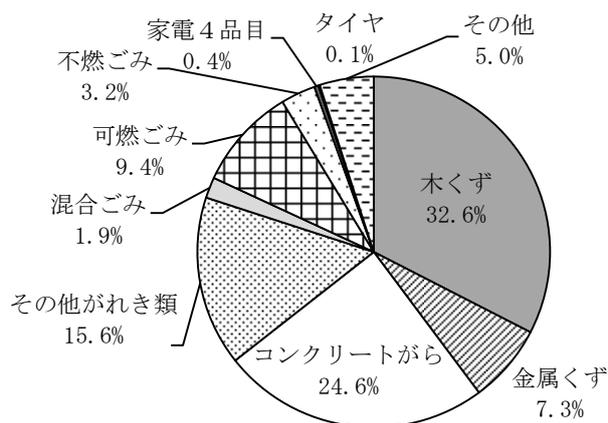
### (3) 災害廃棄物の状況

令和2年度に島根県内で災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った災害廃棄物の処理量は786tである。

災害廃棄物の内訳は木くず(32.6%)が最も多く、次いでコンクリートがら(24.6%)、その他がれき類(15.6%)である。災害廃棄物の搬入先の内訳は、その他の施設(81.2%)が最も多く、次いで焼却施設(16.8%)である。

表1-3 災害廃棄物の排出量と搬入先

	単位	直接資源化	焼却施設	粗大ごみ処理施設	資源化等施設	その他の施設	合計
木くず	t		13			243	256
金属くず	t				6	51	57
コンクリートがら	t					193	193
その他がれき類	t		23			100	123
混合ごみ	t		1	2		12	15
可燃ごみ	t		74	0		0	74
不燃ごみ	t		21	4		0	25
家電4品目	t	1			2		3
タイヤ	t				1		1
その他	t					39	39
排出量	t	1	132	6	9	638	786



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図1-7 災害廃棄物の排出量

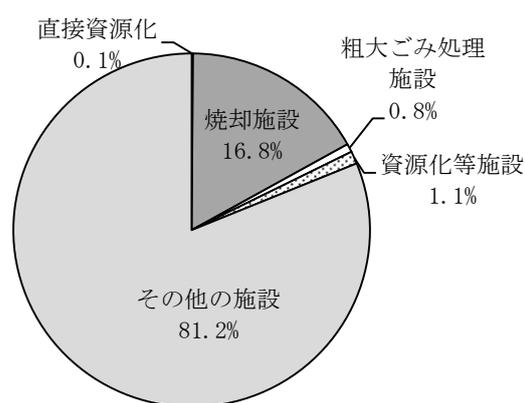


図1-8 災害廃棄物の搬入先

## 2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

### (1) 島根県全体の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

令和 2 年度に市町村から排出されたごみ量は 232,553t であり、収集内訳は、可燃ごみ 79.6%、不燃ごみ 5.7%、資源ごみ 14.2%、粗大ごみ 0.5%、その他は 0.1 未満であった。

処理内訳では 175,351t(75.1%)が直接焼却され、51,501t(22.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 6,731t(2.9%)は直接埋立とされている。

島根県全体で 48,747t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 49,155t が資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

島根県全体		令和2年度	
計画収集量		195,124	
収集内訳	可燃ごみ	155,240	
	不燃ごみ	11,120	
	資源ごみ	27,800	
	その他	36	
	粗大ごみ	928	
直接搬入量		37,021	
集団回収量		408	
総排出量		232,553	
自家処理量		8	
処理内訳	中間	直接焼却	175,351
		焼却以外	51,501
	最終処分	直接埋立	6,731
		焼却残渣	10,656
		破碎圧縮残渣	4,241
	資源化		48,747
	処理合計		233,583
リサイクル率 (%)		21.0	
1人1日当たりごみ総排出量(g)		946	

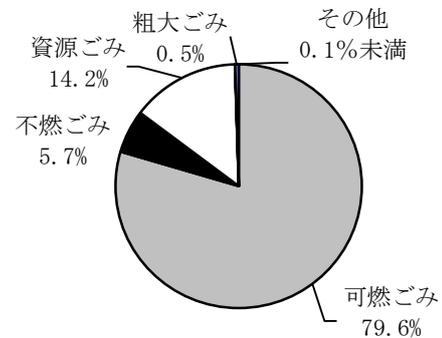


図2-1 ごみの収集内訳

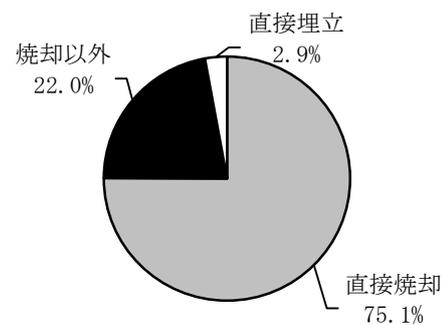


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

令和 2 年度に当地区内から排出されたごみ量は 86,371t であり、収集内訳は、可燃ごみ 76.2%、不燃ごみ 1.4%、資源ごみ 22%、粗大ごみ 0.4%であった。

処理内訳では 66,430t(76.9%)が直接焼却され、19,030t(22%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 919t(1.1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 23,566t がごみから分別・資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳 (単位：t)

松江地区		令和2年度	
計画収集量		75,388	
収集内訳	可燃ごみ	57,441	
	不燃ごみ	1,052	
	資源ごみ	16,571	
	その他	10	
	粗大ごみ	314	
直接搬入量		10,983	
集団回収量		0	
総排出量		86,371	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	66,430
		焼却以外	19,030
	最終処分	直接埋立	919
		焼却残渣	1,616
		破碎圧縮残渣	79
	資源化		23,566
	処理合計		86,379
リサイクル率 (%)		27.3	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		991	

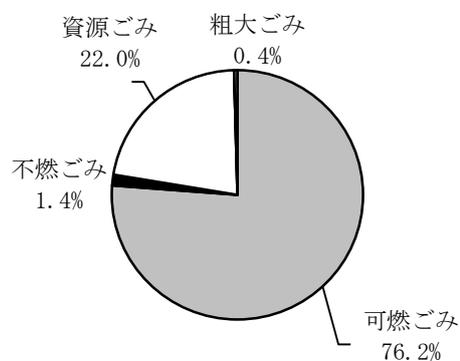


図2-3 ごみの収集内訳

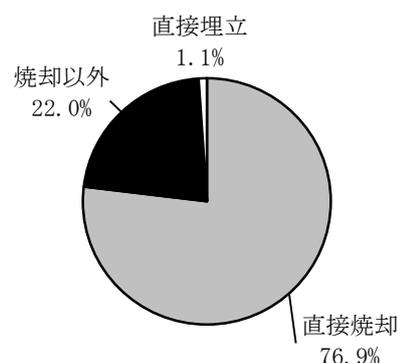


図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

## <出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

令和2年度に当地区内から排出されたごみ量は74,150tであり、収集内訳は、可燃ごみ82.5%、不燃ごみ12.1%、資源ごみ5.3%、粗大ごみ0.1%であった。

処理内訳では52,573t(71%)が直接焼却され、17,335t(23.4%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り4,118t(5.6%)は直接埋立とされている。

当地区全体で11,592tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると11,787tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

出雲地区		令和2年度	
計画収集量		65,362	
収集内訳	可燃ごみ	53,891	
	不燃ごみ	7,920	
	資源ごみ	3,471	
	その他	21	
	粗大ごみ	59	
直接搬入量		8,593	
集団回収量		195	
総排出量		74,150	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	52,573
		焼却以外	17,335
	最終処分	直接埋立	4,118
		焼却残渣	4,802
		破碎圧縮残渣	2,072
資源化		11,592	
処理合計		74,026	
リサイクル率 (%)		15.9	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		888	

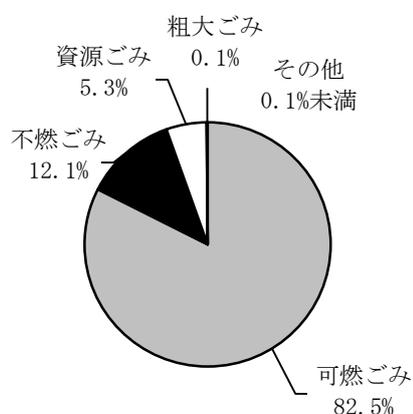


図2-5 ごみの収集内訳

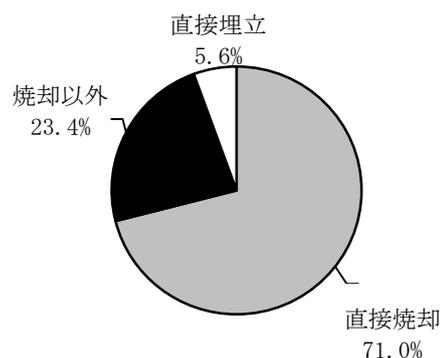


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

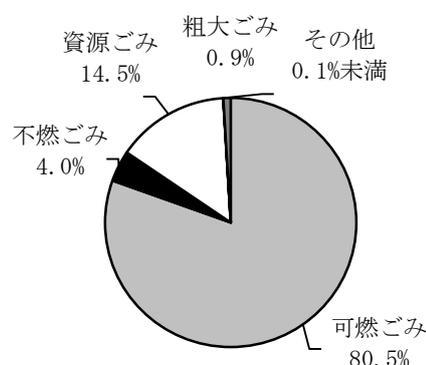
令和 2 年度に当地区内から排出されたごみ量は 62,263t であり、収集内訳は、可燃ごみ 80.5%、不燃ごみ 4%、資源ごみ 14.5%、粗大ごみ 0.9%であった。

処理内訳では 48,519t(77.5%)が直接焼却され、13,405t(21.4%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 645t(1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 12,882t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 13,095t が資源化された。

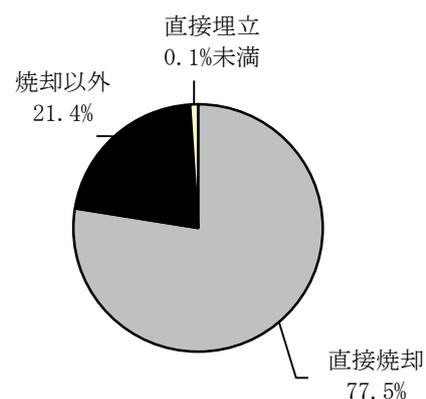
表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

浜田地区		令和2年度	
計画収集量		51,143	
収 集 内 訳	可燃ごみ	41,149	
	不燃ごみ	2,066	
	資源ごみ	7,440	
	その他	5	
	粗大ごみ	483	
直接搬入量		10,907	
集団回収量		213	
総排出量		62,263	
自家処理量		8	
処 理 内 訳	中 間	直接焼却	48,519
		焼却以外	13,405
	最 終 処 分	直接埋立	645
		焼却残渣	3,062
		破碎圧縮残渣	1,681
	資源化		12,882
	処理合計		62,569
リサイクル率 (%)		20.9	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		914	



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-7 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

## < 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

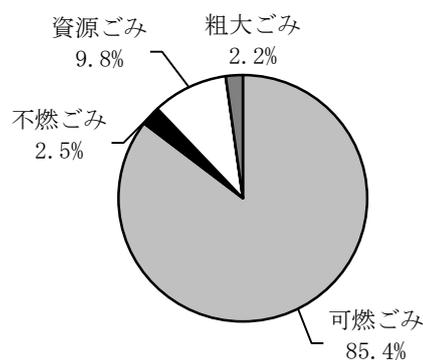
令和 2 年度に当地区内から排出されたごみ量は 9,769t であり、収集内訳は、可燃ごみ 85.4%、不燃ごみ 2.5%、資源ごみ 9.8%、粗大ごみ 2.2%であった。

処理内訳では 7,829t (73.8%) が直接焼却され、1,731t (16.3%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 1,049t (9.9%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 707t がごみから分別・資源化された。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

隠岐地区		令和2年度	
計画収集量		3,231	
収集内訳	可燃ごみ	2,759	
	不燃ごみ	82	
	資源ごみ	318	
	その他	0	
	粗大ごみ	72	
直接搬入量		6,538	
集団回収量		0	
総排出量		9,769	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	7,829
		焼却以外	1,731
	最終処分	直接埋立	1,049
		焼却残渣	1,176
		破碎圧縮残渣	409
	資源化		707
処理合計		10,609	
リサイクル率 (%)		6.7	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		1,377	



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-9 ごみの収集内訳

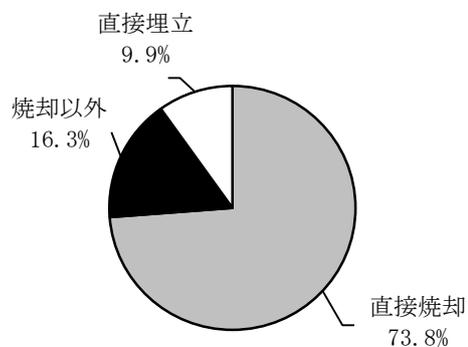


図2-10 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

### 3. ごみ処理施設の状況

#### (1) 島根県全体の状況

令和2年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-1、2に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は10施設(処理能力703.86t/日)、ごみ燃料化施設は、1施設(処理能力30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は2施設、資源化等の施設は16施設、粗大ごみ処理施設は13施設、保管施設は12施設である。

埋立中の最終処分場は23施設あり、全体埋立容量は1,876,321m<sup>3</sup>、残余容量は545,554m<sup>3</sup>となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 <sup>※1</sup>	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	10	703.86	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	16	196.07	—
粗大ごみ処理施設	13	231.9	—
保管施設	12	16,241 (t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	23	1,876,321 (m <sup>3</sup> )	545,554 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化熔融	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式					
施設数	1	6	3	1	11
規模(t/日)	62	70.86	571	30	733.86

※ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化熔融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

#### ①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は4施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は734,641m<sup>3</sup>、残余容量は94,559m<sup>3</sup>となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	4	96	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	9,350 (t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	4	734,641 (m <sup>3</sup> )	94,559 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況を表 3-5 に示す。

粗大ごみ処理施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 74,147m<sup>3</sup>、残余容量は 43,860m<sup>3</sup>となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (年度末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	-
最終処分場	2	74,147 (m <sup>3</sup> )	43,860 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

## <出雲地区>

### ①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-6、7に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m<sup>3</sup>、残余容量は12,821m<sup>3</sup>となっている。

表3-6 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	20	-
粗大ごみ処理施設	1	7	-
最終処分場	1	61,800 (m <sup>3</sup> )	12,821 (m <sup>3</sup> )

表3-7 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-8～10に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m<sup>3</sup>、残余容量は10,855m<sup>3</sup>となっている。

表3-8 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	926(t/年度) <sup>※1</sup>	-
最終処分場	3	41,300 (m <sup>3</sup> )	10,855 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-9 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-10 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15	圧縮・梱包

### ③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-11、12に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力218t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等の施設は2施設、粗大ごみ処理施設は3施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は522,304m<sup>3</sup>、残余容量は222,366m<sup>3</sup>となっている。

表3-11 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	48	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	1,652 (t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	4	522,304 (m <sup>3</sup> )	222,366 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-12 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表3-13、14に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は2施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は50,000m<sup>3</sup>、残余容量は44,563m<sup>3</sup>となっている。

表3-13 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	2	6.9	—
粗大ごみ処理施設	1	8	—
保管施設	2	997 (t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	1	50,000 (m <sup>3</sup> )	44,563 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-14 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-15、16 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 12 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 14,300m<sup>3</sup>、残余容量は 2,083m<sup>3</sup>となっている。

表3-15 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	2,236 (t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場	1	14,300 (m <sup>3</sup> )	2,083 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、令和 2 年度保管量である。

表3-16 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-17、18 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 124,900m<sup>3</sup>、残余容量は 65,397m<sup>3</sup>となっている。

表3-17 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	2	124,900 (m <sup>3</sup> )	65,397 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-18 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーン センター	98	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-19、20に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は149,729m<sup>3</sup>、残余容量は17,470m<sup>3</sup>となっている。

表3-19 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	1,022 (t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場 <sup>※1</sup>	2	149,729 (m <sup>3</sup> )	17,470 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-20 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-21、22に示す。

海士町のごみ焼却施設は1施設(処理能力7t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は12,000m<sup>3</sup>、残余容量は3,917m<sup>3</sup>となっている。

表3-21 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	58 (t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場	1	12,000 (m <sup>3</sup> )	3,917 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、令和2年度保管量である。

表3-22 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町 清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-23、24 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 5.3t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 11,200m<sup>3</sup>、残余容量は 10,243m<sup>3</sup>となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-23 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	5.3	-
最終処分場	1	11,200 (m <sup>3</sup> )	10,243 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-24 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町ごみ焼却場 「清美苑」	5.3	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-25、26 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-25 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量（年度末）
ごみ焼却施設	1	1.56	-

表3-26 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-27、28 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m<sup>3</sup>、残余容量は 17,417m<sup>3</sup>となっている。

表3-27 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(年度末)
ごみ焼却施設	1	25	-
資源化等の施設	1	2.7	-
最終処分場	1	80,000 (m <sup>3</sup> )	17,417 (m <sup>3</sup> )

表3-28 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

## 4. ごみ減量化・資源化状況

### (1) 島根県全体の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

令和2年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は48,747tであった。その内、紙類が11,227t(23.0%)で最も多く、次に、熔融スラグ8,820t(18.1%)、金属類6,474t(13.3%)であった。

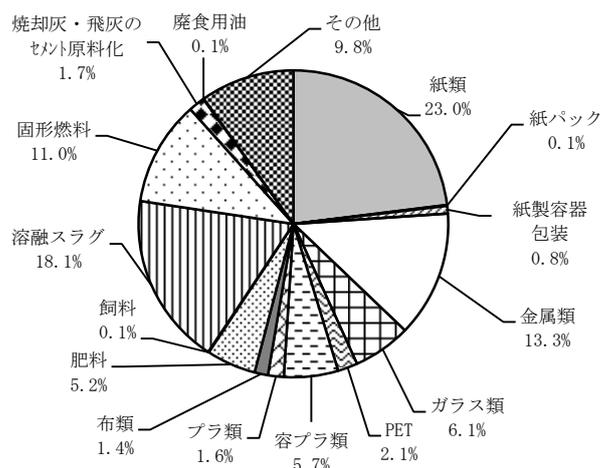
また、集団回収により資源化された量は408tであり、紙類が357t(87.5%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

(単位：t)

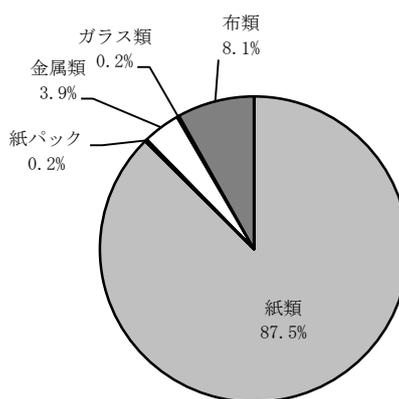
区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	11,227	53	383	6,474	2,952	1,007	2,764	803	682
集団回収	357	1	0	16	1	0	0	0	33

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	2,517	39	8,820	5,380	831	32	4,783	48,747
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	408



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-2 集団回収の内訳

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3に示す。

令和2年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は23,566tであった。その内、熔融スラグが6,155t(26.1%)で最も多く、次に紙類5,212t(22.1%)、金属類2,512t(10.7%)であった。

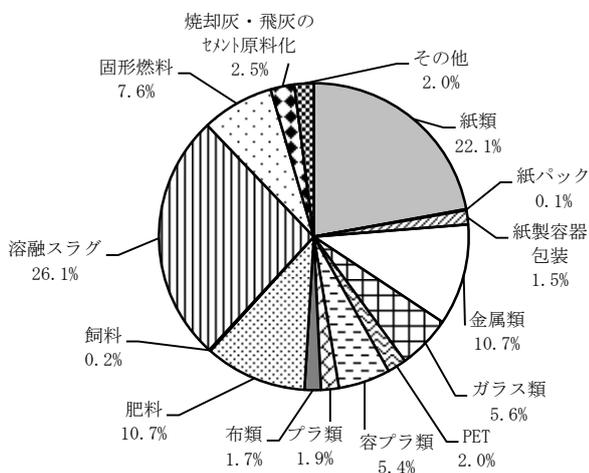
松江地区では集団回収が実施されていない。

表4-2 資源化の状況

(単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	5,212	31	350	2,512	1,322	467	1,276	440	399

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	2,517	39	6,155	1,787	584	0	475	23,566



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表4-3、市町村による資源化の内訳を図4-4、集団回収の内訳を図4-5に示す。

令和2年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は11,592tであった。その内、その他が3,992t(34.4%)で最も多く、次に固形燃料2,895t(25.0%)、紙類1,851t(16.0%)であった。

また、集団回収により資源化された量は195tであり、紙類が180t(92.3%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況 (単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	1,851	0	0	1,854	598	153	25	0	207
集団回収	180	0	0	0	0	0	0	0	15

区分	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	2,895	0	17	3,992	11,592
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	195

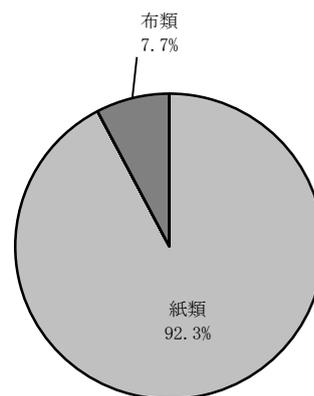
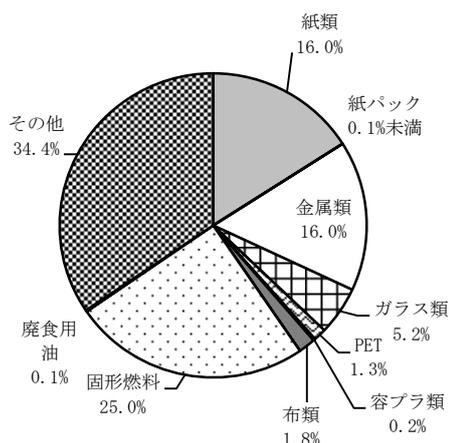


図4-4 市町村による資源化の内訳

図4-5 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-6、集団回収の内訳を図4-7に示す。

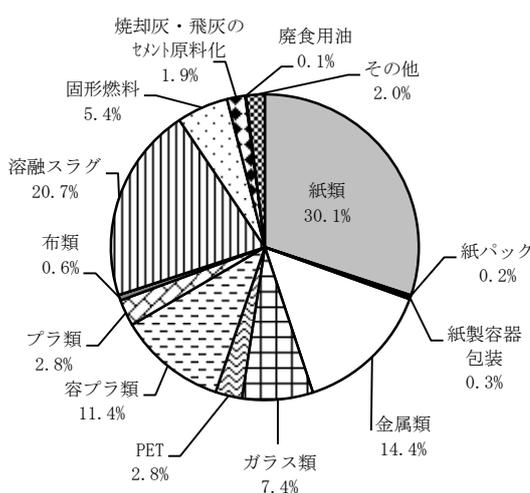
令和2年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は12,882tであった。その内、紙類が3,876t(30.1%)で最も多く、次に熔融スラグ2,665t(20.7%)、金属類1,859t(14.4%)であった。

また、集団回収により資源化された量は213tであり、紙類が177t(83.1%)とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況 (単位：t)

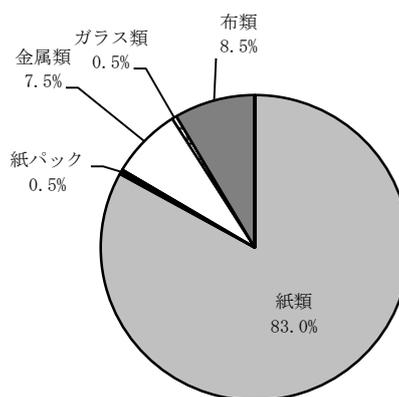
区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	3,876	22	33	1,859	959	359	1,463	363	76
集団回収	177	1	0	16	1	0	0	0	18

区分	肥料	飼料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	2,665	698	247	10	252	12,882
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	213



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-6 市町村による資源化の内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-7 集団回収の内訳

<隠岐地区>

隠岐地区における資源化の状況を表4-5、市町村による資源化の内訳を図4-8に示す。

令和2年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は707tであった。その内、紙類が288t(40.7%)で最も多く、次に金属類が249t(35.2%)、ガラス類73t(10.3%)であった。

表4-5 資源化の状況 (単位：t)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類	布類
市町村	288	0	0	249	73	28	0	0	0

区分	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	0	0	5	64	707

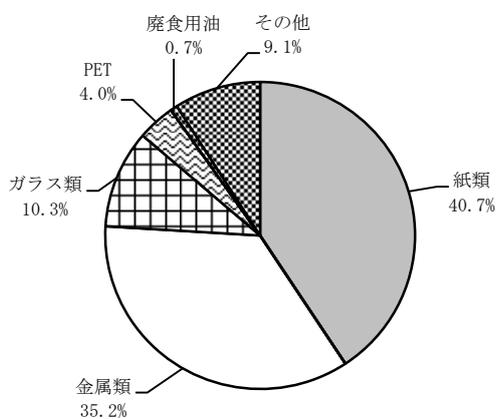


図4-8 市町村による資源化の内訳

## 5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

令和3年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和3年12月1日現在）について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が9自治体と最も多く、次にパンフレットの作成が6自治体となっている。予算については、不法投棄防止関連事業、副読本作成、イベントの開催が多い。

表5-1 令和3年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業（令和3年12月1日現在）

事業名	事業の概要	市町村	当初予算額
パンフレット作成	子ども用パンフレット、家庭ごみの分け方・出し方ガイドブック、カレンダー、ごみ減量化パンフレット作成・印刷費用	松江市、出雲市、大田市、江津市、奥出雲町、美郷町	1,867千円
啓発用映像資料	啓発用映像資料（DVD等）作成	大田市	171千円
副読本作成	ごみ分別冊子作成	雲南市、飯南町	3,000千円
廃棄物減量化等協議会開催	定例審議会、臨時審議会 廃棄物減量等推進審議会	浜田市、益田市、江津市、隠岐の島町	1,043千円
イベントの開催	環境問題に関心を深め、持続可能な社会の構築を推進するため開催（イラスト展）	安来市	2,300千円
資源ごみ回収団体への助成	住民団体が行う資源回収への助成	松江市、益田市、津和野町	803千円
資源ごみ回収機器等の貸出	剪定枝粉碎機貸出（修繕費）	出雲市	20千円
不法投棄防止関連事業	看板・杭設置、パトロール、不法投棄物回収業務及び処分手数料等	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、奥出雲町、隠岐の島町	4,909千円
生ごみ堆肥化装置の設置補助	生ごみ堆肥化容器、電気式生ごみ処理器への補助	大田市、益田市、川本町、津和野町、西ノ島町	576千円
その他	・食品ロス啓発パネル・動画 ・ごみ減量化啓発業務委託料等	松江市 出雲市	2,467千円
合 計		-	17,156千円

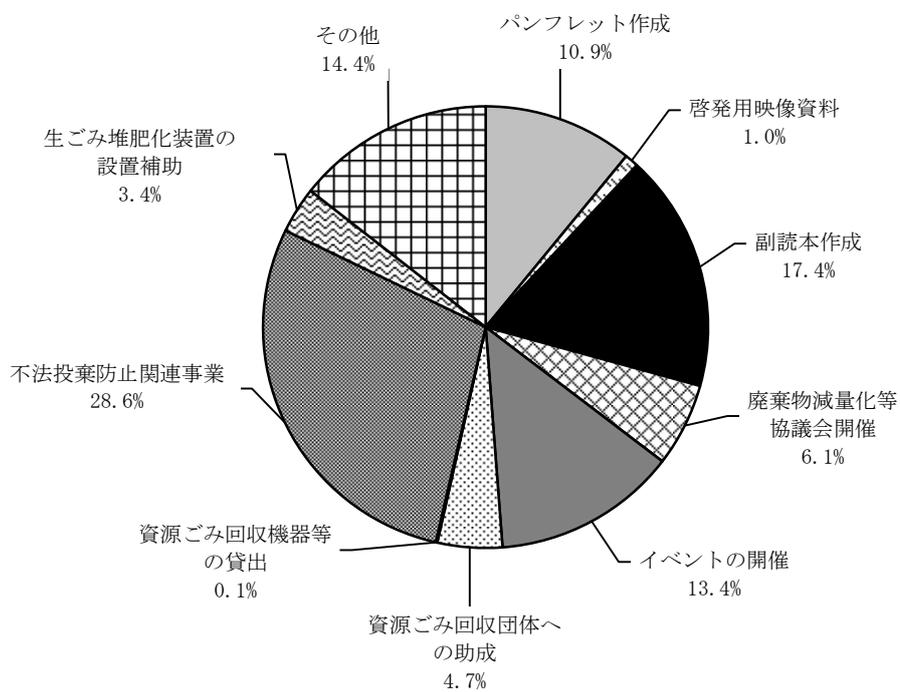


図5-1 令和3年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳  
(令和3年12月1日現在)

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和3年12月1日現在

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	13/27/40/61 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	半透明(緑色) シール(粗大)	10/20/50L	22/33/44 円 シール 254 円	中密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青色) シール(粗大)	5/10/20/50L	11/22/33/44 円 シール 254 円	低密度ポリエチレン
	資源(びん)	半透明(橙色)	10/20L	11/16.1 円	低密度ポリエチレン
	資源(缶)	半透明(灰色)	20/50L	16.1/22 円	
資源(ペットボトル)	半透明(水色)	20/50L	16.1/22 円		
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/20/40L	15/31/52 円	高密度ポリエチレン
	不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	20/40L	31/52 円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	20/40L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄色)	800×650 mm 700×550 mm 600×500 mm	61 円 41 円 31 円	高密度ポリエチレン
	不燃	袋に入らない物 半透明(緑色)	シール 2 枚 (大)850×650 mm (小)700×550 mm	61 円 51 円 31 円	
	資源	袋に入らない物 透明	シール 2 枚 860×650 mm 690×540 mm	61 円 20 円 15 円	高密度ポリエチレン
	(容器包装物のみ)				
大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45L	26/31/52 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白) シール(粗大)	20/30/45L	26/31/52 円 524 円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明	30/45L	16/22 円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	26/37/47 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45L	26/31/37 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	白 シール(粗大)	15/30/45L	15/30/45 円 シール 100 円	高密度ポリエチレン
雲南市	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L(手さげ型)	31/46 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45 L	26/47 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	33/44 円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白色)	15/35 L	33/66 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(黒字)	25 L	16.5 円	ビ ン : 低密度ポリエチレン その他 : 高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装物)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L			

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

令和3年12月1日現在

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
美郷町		可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビ ン : 低密度 <sup>*</sup> リフレ その他 : 高密度 <sup>*</sup> リフレ
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装 <sup>ポ</sup> )	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペット <sup>ボ</sup> トル)	半透明(水色)	45 L		
邑南町		可燃	半透明(白)	15/35 L	33/66 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		不燃	半透明(黄色)	25 L	33 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.5 円	ビ ン : 低密度 <sup>*</sup> リフレ その他 : 高密度 <sup>*</sup> リフレ
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装 <sup>ポ</sup> )	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペット <sup>ボ</sup> トル)	半透明(水色)	45 L		
津和野町		可燃	半透明(ルン <sup>ゴ</sup> )	15/45L	30/51 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		資源(容器 <sup>ポ</sup> )	半透明(桃色字)	15/45L	30/51 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		(商品 <sup>ポ</sup> )	半透明(黄字)	びん類 400× 750mm	びん類 51 円	
		(缶類)	透明(黒字)			
(びん類)	透明(青字)					
吉賀町		可燃	半透明	450×800 mm	51 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
				360×800 mm	34 円	
				360×600 mm	25.5 円	
		資源(容器 <sup>ポ</sup> )	半透明	450×980 mm	51 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		(商品 <sup>ポ</sup> )		450×980 mm		
(カン類)	450×980 mm					
(ビン類)	400×800 mm					
海士町		可燃	チケット		70 円	紙
		不燃	チケット		70 円	紙
		資源	チケット		70 円	紙
知夫村		可燃	半透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100 円	100%PE
		不燃	チケット券		200/1000 円券	
		資源(ビン)	半透明(黄色)	30 L	140 円	100%PE
		資源(カン)	"	30/45 L	70/140 円	
		資源(ペット)	"	30/45 L	70/140 円	
西ノ島町		可燃	半透明(黄色)	30/45L	55/82 円	低密度 <sup>*</sup> リフレ
		不燃	半透明(青色)	30/45L	55/82 円	低密度 <sup>*</sup> リフレ
			袋に入らない物	粗大ゴミシール	55/82 円 820 円	
隠岐の島町		可燃	チケット (2色刷)	1 容器 1 枚 10kg 以内	100 円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)
		不燃	チケット (2色刷)	1 容器 1 枚 10kg 以内	100 円	上質紙玉紙+針金#30 (115×65mm)
		資源	半透明	550×690 mm	無料	高密度 <sup>*</sup> リフレ
雲南市・飯南町 事務組合		可燃	半透明(ルン <sup>ゴ</sup> 色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ
		不燃	半透明(青色)	20/45 L	33/44 円	低密度 <sup>*</sup> リフレ
		資源	半透明(緑色)	20/45 L	33/44 円	低密度 <sup>*</sup> リフレ
鹿足郡不燃物 処理組合		不燃	半透明	45 L	50 円	高密度 <sup>*</sup> リフレ

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

令和3年12月1日現在

市町村	区分	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質	
					1枚あたり		
松江市		可燃	半透明(白)	30/45 L	設定なし	炭酸ｶﾘﾝｸﾞ入ﾘﾎﾟﾘ ﾌﾞﾘﾝ	
		不燃	透明(黄)	30/45 L	設定なし		低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ
浜田市		可燃	半透明(黄色)	50 L	88 円	中密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃	半透明(桃色)	50 L	88 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		資源	半透明(茶色)	50 L	44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
出雲市		可燃	白色(赤字)	40 L	125 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃	黄色(赤字)	40 L	125 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃 (破碎ごみ)	赤色(赤字)				
		不燃 (埋立ごみ)					
益田市		可燃	半透明(青色)	800×650 mm	100 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
大田市		可燃	半透明(緑)	45 L	105 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37 円 +事業用収集券 104 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	26/31/37 円 +事業用収集券 104 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
江津市		可燃	半透明(白)	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
雲南市		可燃	半透明(ﾎﾟﾝﾌﾞ)	20/40L(手さげ型)	31/46 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃	半透明(青)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		資源	半透明(緑)	20/45 L	33/44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
飯南町		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃	半透明(青)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		資源	半透明(緑)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
津和野町		可燃	半透明(ﾎﾟﾝﾌﾞ)	15/45L	30/51 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		資源(容器ﾌﾞﾗ) (商品ﾌﾞﾗ) (缶類) (びん類)	透明(桃文字) 透明(黄文字) 透明(黒文字) 透明(青文字)	15/45L  びん類 400× 750mm	30/51 円  びん類 51 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
吉賀町		可燃	半透明	450×800 mm	51 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
				360×800 mm	34 円		
				360×600 mm	25.5 円		
		資源(容器ﾌﾞﾗ) (商品ﾌﾞﾗ) (カン類) (ビン類)	半透明	450×980 mm 450×980 mm 450×980 mm 400×800 mm	51 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
海士町		可燃	チケツト		70 円	紙	
		不燃	チケツト		70 円	紙	
		資源	チケツト		70 円	紙	
西ノ島町		可燃	半透明(黄色)	30/45L	55/82 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃	半透明(青色) 袋に入らない物	30/45L 粗大ごみｼｰﾙ	55/82 円 820 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
雲南市・飯南町 事務組合		可燃	半透明(黄色)	20/30/40/45 L	31/44/46/66 円	高密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		不燃	半透明(青色)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	
		資源	半透明(緑色)	20/40 L	33/44 円	低密度ﾎﾟﾘﾌﾟﾚﾝ	

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ堆肥化装置の設置補助(令和3年度)

市町村名	補助基準	備 考
益田市	補助率 1/2、限度額 5 千円 補助率 1/2、限度額 15 千円	コンポスト 電気式
大田市	補助率 1/2、限度額 3 千円	コンポスト、電気式とも同一 1 世帯当たり 2 基まで
川本町	補助率 1/2、限度額 3 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	
津和野町	補助率 1/2、限度額 3.5 千円 (100 円未満切捨て) 補助率 1/3、限度額 20 千円 (100 円未満切捨て)	生ごみ処理容器(1 世帯当たり 2 基) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基)
西ノ島町	補助率 1/2、限度額 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、限度額 10 千円(町外購入)	

## 6. し尿処理の概要

### (1) 衛生処理人口

島根県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

令和 2 年度における県内の水洗化人口は、567,564 人(84.2%)、非水洗化人口は、106,214 人(15.8%)である。水洗化人口は前年の 0.3%減で、平成 28 年度と比べると 0.3%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
総人口(人)	696,915	691,933	686,362	680,905	673,778
水洗化人口(人)	565,718	566,225	568,927	569,500	567,564
下水道人口(人)	288,694	296,085	298,514	298,322	301,950
コミュニティ・プラント人口(人)	4,288	4,154	4,121	4,077	4,038
浄化槽人口(人)	272,736	265,986	266,292	267,101	261,576
非水洗化人口(人)	131,197	125,708	117,435	111,405	106,214
計画収集人口(人)	128,878	123,584	115,366	109,373	104,282
自家処理人口(人)	2,319	2,124	2,069	2,032	1,932
総処理量(kL/年)	265,375	263,341	262,621	260,290	259,618
し尿計画処理量(kL/年)	88,583	85,035	82,432	78,614	77,032
自家処理量(kL/年)	1,374	1,257	1,102	1,072	994
浄化槽汚泥計画処理量(kL/年)	175,418	177,049	179,087	180,604	181,592

注) 総人口に外国人含む。

総人口＝水洗化人口＋非水洗化人口

水洗化人口＝下水道人口＋コミュニティ・プラント人口＋浄化槽人口

非水洗化人口＝計画収集人口＋自家処理人口

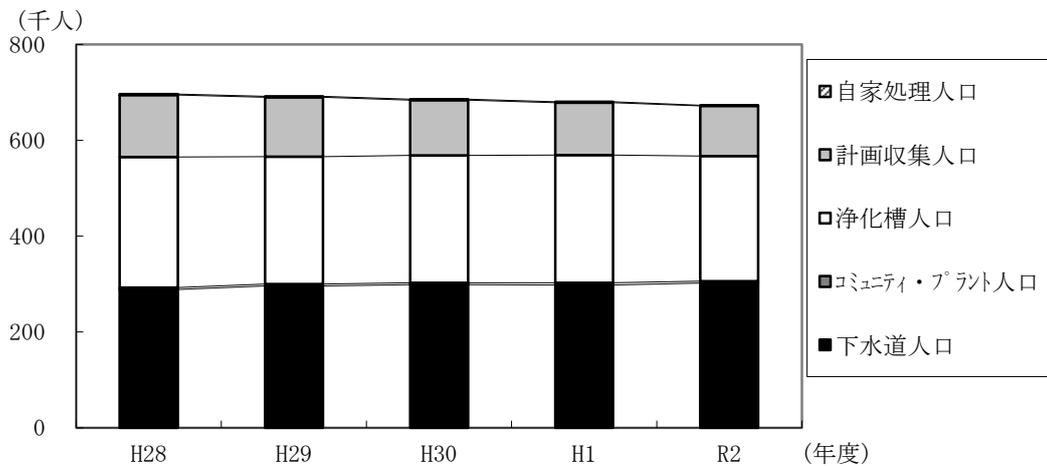


図6-1 衛生処理人口の推移

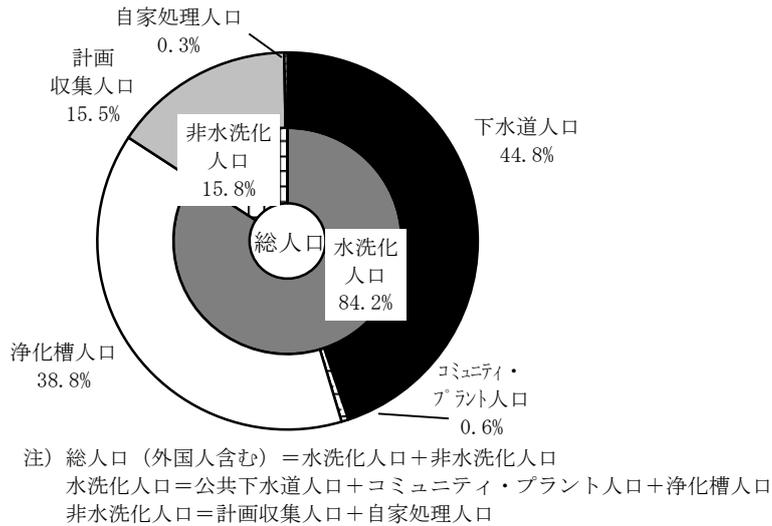


図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

令和2年度における県内の総処理量は、259,618kLで、前年より約0.3%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が69.9%、し尿計画処理量が29.7%、自家処理量0.4%となっている。

1人1日当たりし尿計画処理量は2.02L/人日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.87L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分	令和2年度
総処理量 (kL/年)	259,618
内訳	
し尿計画処理量	77,032
自家処理量	994
浄化槽汚泥計画処理量	181,592
し尿計画処理量 (kL/年)	77,032
内訳	
下水道投入	10,467
し尿処理施設	66,558
農村還元	7
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)	181,592
内訳	
下水道投入	32,726
し尿処理施設	148,723
農村還元	143
1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日)	2.02
1人1日当たりし尿排出量 (L/人)	2.01
1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日)	1.87

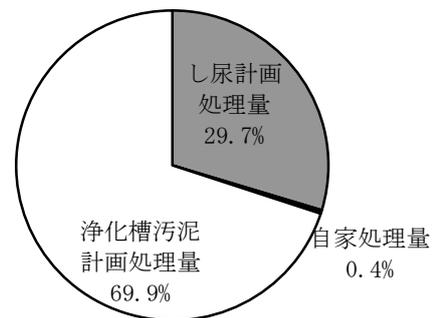


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量  
 1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>  
 1人1日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>  
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365日 × 10<sup>3</sup>

### (3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、個人設置型浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

令和 2 年度の県内のし尿処理施設数は 10 施設（処理能力 719.4kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,368m<sup>3</sup>/日）である。

浄化槽設置基数は合計 70,653 基で、去年より 163 基減少している。

令和 2 年度の県内の浄化槽設置基数(個人設置型)は 528 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設					コミュニティ・プラント
	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	その他	合計	
施設数	1	4	4	1	10	9
規模(kL/日)	27	224	397	71.4	719.4	2,368(m <sup>3</sup> /日)

注 1) 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段）  
膜分離…膜分離処理方式

高負荷…高負荷脱窒素処理方式

注 2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m<sup>3</sup>/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設置基数	69,758	701	101	93	70,653

基数/年

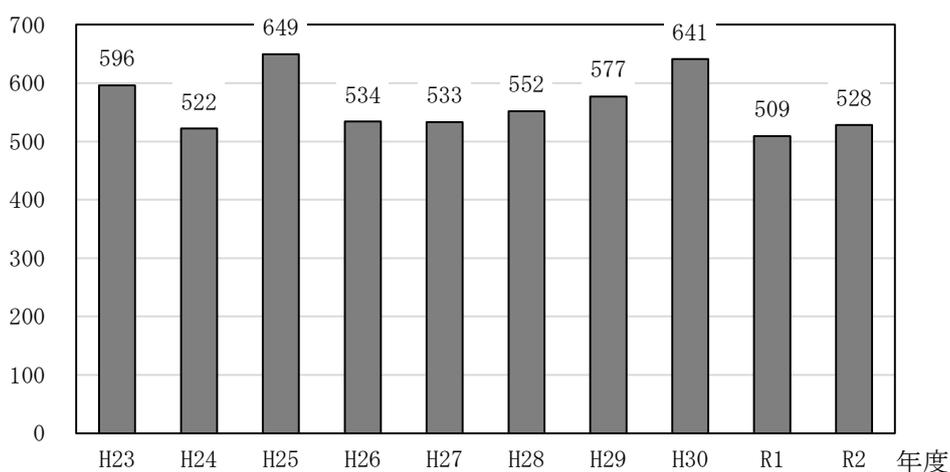


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

## 7. 一般廃棄物処理事業の実態

### 7-1 廃棄物処理事業経費の概要

#### (1) 島根県全体の廃棄物処理事業経費の概要

島根県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

令和 2 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 23,042,038 千円であり、前年より 35.6%増加している。経費の内訳はごみ処理が 21,347,635 千円、し尿処理が 1,694,403 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

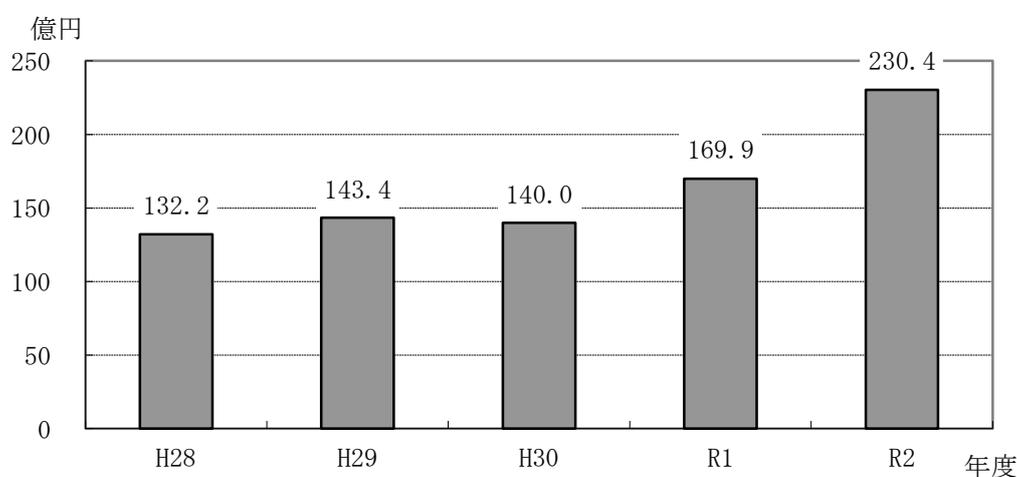


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(島根県全体)

#### (2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、出雲地区 9,697,895 千円 (45.4%) と最も多く、次いで浜田地区が 7,581,613 千円 (35.5%)、松江地区 3,372,325 千円 (15.8%)、隠岐地区 695,802 千円 (3.3%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(島根県全体)

(令和2年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	2,588,304	0	5,072,805	2,354,851	2,885,997	975,012	10,356,663	21,347,635
し尿	1,558	0	128,600	217,317	343,725	11,004	1,335,924	1,694,403
計	2,589,862	0	5,201,405	2,572,168	3,229,722	986,016	11,692,587	23,042,038

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(島根県全体)

(令和2年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	〔組合 分担金〕	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				〔組合 分担金〕	調査 研究費			小計
	収集運搬 施設	中間処理 施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	278	8,775,285	983,118	92,177	17,514	107,396	9,868,372	1,306,521	101,350	1,159,746	142,960	0	2,279,000	3,891,707	203,142	1,331,635	2,778,601	25,641	10,441,702	1,037,561	21,347,635
し尿	7,984	58,784	0	5,650	0	0	72,418	220,861	49,295	277,444	17,138	0	69,393	916,817	24,916	12,012	343,725	2,923	1,590,799	31,186	1,694,403
計	8,262	8,834,069	983,118	97,827	17,514	107,396	9,940,790	1,527,382	150,645	1,437,190	160,098	0	2,348,393	4,808,524	228,058	1,343,647	3,122,326	28,564	12,032,501	1,068,747	23,042,038

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

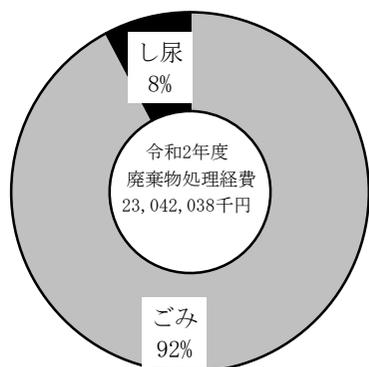


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(島根県全体)

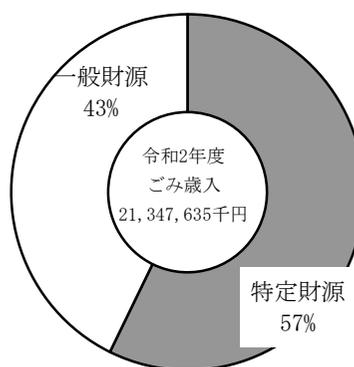


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(島根県全体)

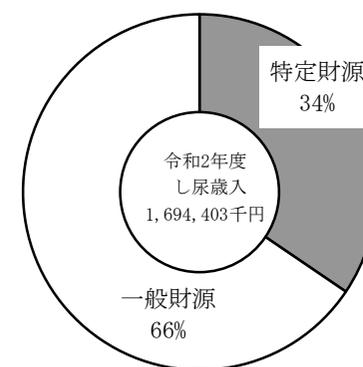


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(島根県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村)

(令和2年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	1,863,852	0	5,072,805	2,108,551	958,981	7,876,303	17,880,492
し尿	1,558	0	128,600	198,120	10,991	1,326,069	1,665,338
計	1,865,410	0	5,201,405	2,306,671	969,972	9,202,372	19,545,830

表 7-4 歳出の内訳(市町村)

(令和2年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				組合 分担金	調査研 究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	278	6,134,627	10,408	2,746	14,984	107,396	6,270,439	1,074,313	100,899	826,933	131,209	0	2,075,859	2,606,823	194,178	1,068,204	2,778,601	0	10,857,019	753,034	17,880,492
し尿	7,984	58,784	0	5,650	0	0	72,418	183,473	49,295	231,240	17,138	0	58,716	673,889	19,674	12,012	343,725	0	1,589,162	3,758	1,665,338
計	8,262	6,193,411	10,408	8,396	14,984	107,396	6,342,857	1,257,786	150,194	1,058,173	148,347	0	2,134,575	3,280,712	213,852	1,080,216	3,122,326	0	12,446,181	756,792	19,545,830

表 7-5 歳入の内訳(事務組合)

(令和2年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	724,452	0	0	246,300	2,885,997	16,031	2,480,360	6,353,140
し尿	0	0	0	19,197	343,725	13	9,855	372,790
計	724,452	0	0	265,497	3,229,722	16,044	2,490,215	6,725,930

表 7-6 歳出の内訳(事務組合)

(令和2年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	2,640,658	972,710	89,431	2,530	3,705,329	232,208	451	332,813	11,751	0	203,141	1,284,884	8,964	263,431	25,641	2,363,284	284,527	6,353,140
し尿	0	0	0	0	0	0	37,388	0	46,204	0	0	10,677	242,928	5,242	0	2,923	345,362	27,428	372,790
計	0	2,640,658	972,710	89,431	2,530	3,705,329	269,596	451	379,017	11,751	0	213,818	1,527,812	14,206	263,431	28,564	2,708,646	311,955	6,725,930

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）

（令和2年度, 単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	0	0	55,400	955,729	0	305,033	2,056,163	3,372,325
出雲地区	1,824,513	0	3,833,000	884,373	1,239,389	488,606	2,667,403	9,697,895
浜田地区	726,353	0	1,010,600	424,204	1,646,608	169,704	5,250,752	7,581,613
隠岐地区	37,438	0	173,805	90,545	0	11,669	382,345	695,802
合計	2,588,304	0	5,072,805	2,354,851	2,885,997	975,012	10,356,663	21,347,635

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）

（令和2年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				(組合) 分担金	調査 研究費			小計
	収集運搬 施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	278	22,835	174	0	0	0	23,287	396,041	8,806	124,872	61,215	0	899,258	1,552,228	23,485	0	0	0	3,065,905	283,133	3,372,325
出雲地区	0	6,476,667	0	5,826	17,514	91,766	6,500,007	326,787	7,755	803,141	63,137	0	678,201	817,344	17,086	16,723	1,147,623	19,627	2,749,801	448,087	9,697,895
浜田地区	0	2,068,168	972,710	86,351	0	15,630	3,127,229	421,527	58,298	150,709	9,522	0	669,272	1,380,620	149,911	1,307,982	1,630,978	6,014	4,153,855	300,529	7,581,613
隠岐地区	0	207,615	10,234	0	0	0	217,849	162,166	26,491	81,024	9,086	0	32,269	141,515	12,660	6,930	0	0	472,141	5,812	695,802
合計	278	8,775,285	983,118	92,177	17,514	107,396	9,868,372	1,306,521	101,350	1,159,746	142,960	0	2,279,000	3,891,707	203,142	1,331,635	2,778,601	25,641	10,441,702	1,037,561	21,347,635

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

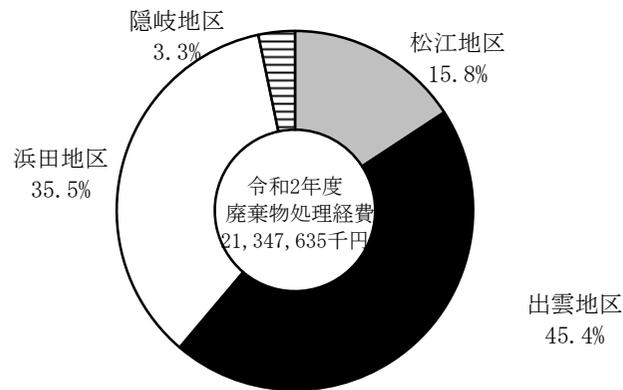


図 7-5 地区別の内訳

## 7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。  
令和 2 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 260 人である。  
内訳は、ごみ処理が 222 人、し尿処理が 38 人である。

表 7-9 従事職員の状況

区 分	単 位	ご み		し 尿		合 計		総 計	
		市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一 般 職	事 務 系	人	106	16	14	3	120	19	139
	技 術 系	人	30	5	8	3	38	8	46
技 能 職	収 集 ・ 運 搬	人	28	0	6	0	34	0	34
	中 間 処 理	人	19	15	4	0	23	15	38
	最 終 処 分	人	1	2	0	0	1	2	3
	そ の 他	人	0	0	0	0	0	0	0
合 計	人	184	38	32	6	216	44	260	

## 7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。  
令和 2 年度末における委託・許可件数は市町村では 387 件、事務組合では 103 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況

区 分		単 位	市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	件	125	33
	許可業(法第7条)	件	195	59
し尿	委託業(法第6条)	件	8	5
	許可業(法第7条)	件	59	6
合 計		件	387	103

## 7-4 一般廃棄物処理業者等関係

令和 2 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	単 位	ご み	し 尿	合 計
業者数	件	154	43	187

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	単 位	収 集 運 搬	中 間 処 理	最 終 処 分	合 計
従業員数	人	1,894	383	12	2,267

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

## 8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値( ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
		R2 年度 調査結果	R 元年度 調査結果	H30 年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	<b>0.00079</b>	0.001	0.000049	1	
		<b>0.0031</b>	0.000052	0.000088		
		<b>0.00011</b>	0.000037	0.00006		
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	<b>1.9</b>	2.1	4.6	5	
		<b>3.9</b>	4.1	1.8		
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	<b>0.0012</b>	0.010	0.000041	0.1	
		<b>0.0010</b>	0.00019	0.0016		
邑智郡総合事務組合 邑智クリーンセンター	BF	<b>0.24</b>	0.56	0.44	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	<b>0.00045</b>	0.000057	0.0000022	1	
		<b>0.00004</b>	0.00053	0.000025		
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	<b>0.0000007</b>	0	0.000033	5	
		<b>0.000077</b>	0.00010	0.00006		
隠岐の島町 島後清掃センター	BF	<b>2.6</b>	4.9	2.7	10	
		<b>2.6</b>	4.9	2.7		
海士町 海士町清掃センター	BF	<b>0.071</b>	0.036	0.033	5	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	<b>0.11</b>	0.047	0.067	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター(RDF)	MC	<b>0.051</b>	0.048	0.120	-	ごみ燃料化 施設
	BF					
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	<b>0.93</b>	0.24	0.55	5	

注) 集塵方式において、MC=マルチサイクロン、BF=バグフィルター、\*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」

資料：松江市「大気基準適用施設の設置者による測定結果」